

かすややかたあと

## 糟屋館跡（秋山高架②地区）

伊勢原市No.74

- 調査期間** 2015年4月1日～継続中  
**所在地** 伊勢原市上粕屋  
**時代** 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器  
**調査原因** 中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査  
**遺跡位置** 小田急小田原線伊勢原駅の北方約2kmの上粕屋扇状地に位置する。



### 主な調査成果

主に中世、平安時代、縄文時代の遺構や遺物が発見されています。縄文時代では、中期から後期を中心とした敷石住居などが見つかっています。また大形の石で造られた配石遺構が発見され注目されます。平安時代では、保存状態が良好な竪穴住居跡や掘立柱建物がみつかっています。中世では、台地の外縁を巡る堀跡や掘立柱建物がみつき、糟屋館跡との関連性が推定されます。近世では、宝永年間の富士山噴火による火山灰で埋まった溝が見つかっています。



縄文時代配石遺構（No.21 南）



平安時代竪穴住居・掘立柱建物（No.21 南）



中世遺構群（No.20 東）



中世堀（No.20 西）